

犯罪の機会を少なくするという対策が 犯罪の発生を予防して 被害の防止につながります



美郷交番所長 小松 令了

子どもを狙った凶悪事件は
美郷町でも
いつ発生してもおかしくない

昨年全国的に見ると奈良県それから
広島県、そして栃木県などで下校中の
児童をねらった誘拐や殺人事件が発
生しています。また、少し古い話にな
りますが、学校に犯人が侵入して、教
職員や児童生徒などを殺害するという
悲惨な事件も起きています。マスメ
ディアの発達した現代においては、美
郷町も含めて子どもの誘拐や殺人など
同じような凶悪事件がいつ発生しても
おかしくないという状況になっていま
す。

子どもを狙った「声かけ事案」は
平成17年に県内で38件発生

子どもに関わる県内の犯罪について
は、現在のところ誘拐、殺人、傷害と
いう事件は起きていませんが、いわゆ
る不審者が子どもに声をかけるとい

「声かけ事案」が発生しています。

県内では昨年、警察で把握して注意
を呼びかけている声かけ事案が38件発
生しています。地域別には秋田中央地
区が16件、県南地区が14件、県北地区
が8件となっています。発生状況の形
態をみると、主に下校中の子どもの被
害になります。車に乗った男性に声
をかけられて写真を撮られたり、「家
どこだ」「年なんぼだ」「乗っていか
ないか」「ちょっとこっちの方さ来い」とい
うように声をかけられたり、車の中か
ら声をかけて腕をつかまえて車の中
に引っぱり込まれそうになったとい
うような事件も発生しており、一歩間違え
ば広島県や栃木県と同じような事態に
なりかねないというような危ない状況
も起きているという現実です。

「声かけ事案」の特徴と犯人像

このような事案の特徴としては、▽
発生の時間帯は主に午後1時から日没
までの下校時間帯が多い▽声をかけら
れた児童生徒38件のうち29件が小学生
で、残りの9件が中学生▽38件のうち
75%近くの28人が女の子というよう
になっています。また、犯人像として
は、▽男性であるということ▽車の中

から声をかけたり、近くに車を止めて
降りて声をかけるというように必ず車
を使用していること▽年齢は20代から
50代までと幅広い年齢層にわたって
いる—ということ。です。

このような「声かけ事案」は、残念な
ことに美郷町でも発生していますし、
自宅に不審な電話がかかってきたとい
うような事例もあります。

防犯対策で重要なのは
「犯罪の機会」を少なくすること

また、防犯対策については、犯罪学
の第一人者である立正大学の小宮助教
授が一番注目したのが、「犯罪の機会
(チャンス)」ということ。です。

それによると、犯罪の発生には原因
があっても、犯罪を犯すチャンスがな
ければ実行されないということ。です。
つまり犯罪者にとって、人の目があっ
ていつ通報されるか分からないとい
うような状況などでは犯罪を犯さなくな
るといようなこと。です。反対のこと
を考えると、誰にも見つからない
で人の目もない、通報もされそうにな
い、簡単にやれそうだとすることに
なると事件が起きてしまうということに
なります。

子どもの事件も同じように、子ども
が人の目につくようなところをよく選
んで歩くようにするなど、犯罪の機会
を少なくするという対策が犯罪の発生
と被害の防止につながると思います。

(この文章は、2月7日に開かれた「子ども見ま
もり隊ボランティア結成集会」での講話を、町長公室
秘書広報班で一部要約し文章化したものです。)

「子どもの安全を守る」

私はこう考えます



地域の子どもは地域で見守る意識の高揚を 今一度みんなでも考え取り組む体制の確立が 必要だと考えます

美郷町防犯協会

会長 齊藤 新一郎

美 郷町防犯協会では子どもの安全に
関する取り組みとして、会員の自
覚向上を図るため、表札を作成して掲
示しながら地域社会にPRしたり、会
員の日常活動を推進するため、協会員
の帽子を作成しパトロールを実施する
などの活動をしています。また、今後
は、町内を広報車で巡回するなどの活
動を計画しています。

子 どもが狙われる事件が各地で発生
していることについては、地域コ
ミュニティーの欠落が大きな原因と思
われます。また、地域の子どもは地域
で見守る意識の高揚を今一度みんな
で考え取り組む体制の確立が必要だと考
えます。

子 どもの安全を守るために地域で
できることは、▽声を掛け合う運動
をすること▽夏休み中に小学校児童が

ラジオ体操会を地域の老人クラブ会員
を誘って一緒に行くことで、地域の子
どもとお年寄りをお互いに知り合うこ
と▽地域の老人クラブ活動での「グラ
ウンドゴルフ」などに子どもたちを誘
いプレーすること▽地域集落会館など
での集会などを活用して、児童の健全
育成や見守り活動について話し合いを
することなどが挙げられると思いま
す。

防 犯協会の会員は、以前は警察官立
寄所から組織化されたもので、ど
ちらかといえば警察への情報提供が主
でありましたが、秋田県警察も社会の
情勢により住民の安全・安心な生活を
守ることが主たる目的になってしまし
たので、防犯協会も地域社会の中で
犯罪予防活動が中心になってきまし
た。

そこで県内でも全世帯が会員になっ
ている町もあります。美郷町も近い将
来全世帯が会員になっていただき安心
して生活ができる、住みよい町づくりに
貢献したいものと考えております。

人 それぞれ守りたい、守らなければ
ならないというものを必ず持つて
いることと思います。私も持つていま
す。皆さん方もお持ちだろうと思いま
す。それを地域全体に広げた場合、地
域として守らなければならぬもの、
守るべきものがあるだろうと思いま
す。何かと考えた時に、私は「結(ゆ
い)」という言葉が浮かんできます。

な ぜここ美郷は「結」というものを守
らなければならぬのか―私はこ
う思います。3つの地域が県内におい
ていち早くスムーズに合併できたのは
”協力の心”があつたからです。「結」
という言葉は、相手に協力しながら自
分も協力してもらおうということです
で、合併はその精神があつてスムーズ
にいったのだと思います。美郷町が今
後も一つの町としてより発展していく
ためには、3つの地域が持つていたお
互いに支え合う心、それぞれが協力し
合う心、それが相手のためでもあり、
自分のためでもあるという「結」の心を
ずっと守っていくことが大切だと思

「結(ゆい)の精神」で
町全体が子どもたちの安全を見守っていると
いうことをアピールしていくことが
大切だと思います

美郷町長 松田 知己



ます。そしてこの「結」の精神はボラン
ティア的な活動につながっていくもの
と思っております。

今 回「子ども見まもり隊」を結成し7
72台の車両にご協力いただけ
る、その中心には、自分のためでもあ
り人のためでもあるこの活動に一緒に
なって頑張っていこうという町民の皆
さん方の想いがあるように思います。
町として本来、こうした「子ども見ま
もり隊」を結成しなくてもいいような
地域になりたいところですが、残念な
がら今の社会状況では、こうしたボラ
ンティア活動で地域全体として防犯に
取り組んでいる、子どもが安全・安心
できるような環境づくりに取り組んで
いるということをおアピールしないとい
けない状況にあります。町としてもこ
の活動を町民一人ひとりに意識して
もらいながら、「美郷町は町全体が子ど
もの安全を見守っている」ということ
を町内外にアピールしていくことが大
切というように思っているところで
す。